

# 「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」実現に向けたロードマップ<sup>①</sup>

#	課題	詳細	注釈	実施主体	一定程度の解決期限	解決期限	
1	(A)タグの低価格化	現行技術で低価格化を図ること	大サイズシリコンウェハの導入		ICチップメーカー	2018	2025
2			チップの小サイズ化の推進		ICチップメーカー	2018	2025
3			安定的な大量ロット発注を前提とした事業者の設備投資の誘導		ICチップメーカー インレイメーカー	2018	2025
4			商品へのタグ貼付設備の開発		生産システムベンダー	2018	2025
5		現行技術に代わる新技術を確立すること	新技術の開発：プリントRFID		研究機関		2025
6			新技術の開発：新素材		研究機関		2025
7			新技術・新技法の開発：製品基板をアンテナ化しチップを設置する技術の活用		タグ加工メーカー		2025
8	(B)タグ/貼付方法の性能・機能向上	コンビニ等小売で利用可能とすること	極小・極細商品に貼付可能なタグ/貼付方法の開発	アンテナ加工(カット)で対応可	タグ加工メーカー		2018
9			金属対応タグ/貼付方法の開発		タグ加工メーカー		2018
10			水分対応タグ/貼付方法の開発		タグ加工メーカー		2018
11			冷凍・チルド等対応タグ/貼付方法の開発		タグ加工メーカー		2018
12			レンジ加熱対応タグ/貼付方法の開発	920MHz帯に配慮したレンジ側対応も視野	タグ加工メーカー		2018
13			個品が購入直前まで特定されない商品の対応方法の整備	おでん等	小売		2018
14			レジ裏調理等の商品の対応方法の整備	ソフトクリーム等	小売		2018
15			買い物カゴに入らない商品の対応方法の整備	傘等	小売		2018
16			雑誌、新聞等の対応方法の整備		小売		2018
17			サプライチェーン全体で利用可能とすること	夏季野外・輸送時等高温対応タグ/貼付方法の開発		タグ加工メーカー	

# 「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」実現に向けたロードマップ②

#	課題	詳細	注釈	実施主体	一定程度の解決期限	解決期限	
18	(C)標準コードの普及	標準コードの優位性を徹底すること	標準コードの広範な利用の促進		国、業界団体	2018	2025
19		標準コード以外のコードとのID重複等による紛争処理方法等の策定		国、業界団体	2018	2025	
20		標準コードの追加仕様等を定めること	インストアコードとの共存管理規定等の策定		国、業界団体	2018	2025
21			独自コードとの共存管理規定等の策定		国、業界団体	2018	2025
22			インストアコードのエンコード方法の策定（必要な場合のみ）	標準コードへの置換かインストアコードのエンコードかの二者択一	国、業界団体	2018	2025
23			プレーヤーを跨ぐタグ利活用のステータス管理方法等の策定	ID共有システム(例えばEPCIS)との関係大	国、業界団体	2018	2025
24	(D)リーダライタの性能・機能向上	小型化・軽量化の推進		リーダライタベンダー		2018	
25		低価格化の推進		リーダライタベンダー		2018	
26		タグの重なり等、読み取りにくい環境下での適切な読み取り技術の開発	レジロボ等、商品取り扱い環境との関係大	生産システムベンダー		2018	
27		サプライチェーン全体で効果的に利用可能とすること	読み取り範囲の「見える化」等、利用者の利便性向上の仕組みの開発		タグ加工メーカー リーダライタベンダー		2025
28	製品製造ラインや物流ラインとタグ読み込み等のスピードの調和			生産システムベンダー		2025	
29	(E)電波環境管理方法の整備	コンビニ等小売での管理方法を整備すること	製品配置に対応した適切な電波遮蔽技術の開発(物理的な遮蔽)		小売 生産システムベンダー	2018	2025
30		会計前後等に対応した適切な電波遮蔽技術の開発(物理的/論理的な遮蔽)	タグ読み取りのステータス管理との関係大	小売 生産システムベンダー	2018	2025	
31		サプライチェーンプレーヤーでの管理方法を整備すること	製品配置に対応した適切な電波遮蔽技術の開発(物理的な遮蔽)		小売 生産システムベンダー	2018	2025

# 「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」実現に向けたロードマップ<sup>③</sup>

#	課題		詳細	注釈	実施主体	一定程度の解決期限	解決期限
32	(F)プレイヤーの適用システムの開発	コンビニ等小売で効果的に利用可能とすること	新たなタグやリーダーライタの出現に伴う既存システムの対応方法の考慮	新たなタグ等が既存のタグ等の性能を凌駕するが故に発生する問題	小売、生産システムベンダー、タグ加工メーカー		2018
33		サプライチェーン全体で効果的に利用可能とすること	適切な生産システムの開発技術/能力の確認		サプライチェーンプレイヤー 生産システムベンダー		2018
34		適切な情報管理システムの開発技術/能力の確認		サプライチェーンプレイヤー SI事業者		2018	
35	(G)ID共有システムの開発	サプライチェーン全体で利用可能とすること	プレイヤーを跨いだID情報共有の設計	ID管理のコンセプトの明確化が必要	国 業界団体	2018	2025
36			プレイヤー毎のID共有システムの開発		サプライチェーンプレイヤー、SI事業者	2018	2025
37			プレイヤーを跨ぐID共有システムの開発		サプライチェーンプレイヤー、SI事業者	2018	2025
38	(H)プレイヤーの運用方法の確立	コンビニ等小売で支障なく運用可能とすること	店舗等での正常時/異常時の人的オペレーションの規定		小売		2018
39			店舗等での異常発生時の復元・補填等の制度の規定		小売		2018
40			連続稼働(24時間365日)店舗等でのシステムの保守方法の整備	無停止システムは既に多々あり整備自体のハードルは低いと思料	小売 SI事業者		2018
41	(I)プレイヤーの費用負担の仕組みの確立	サプライチェーン全体で利用可能とすること	プレイヤーを跨いだ費用負担の仕組みの確立		国 サプライチェーンプレイヤー	2018	2025
42	(J)併用技術との共存方法の確立	コンビニ等小売で支障なく運用可能とすること	異常時の併用技術への利活用(退避)による復旧・補填等の仕組みの整備		小売		2018

# 「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」実現に向けたロードマップ<sup>④</sup>

#	課題		詳細	注釈	実施主体	一定程度の解決期限	解決期限
43	(K)活用技術との協調の仕組みづくり	コンビニ等小売で支障なく運用可能とすること	セルフレジ機能の開発：RFID対応レジ（レジロボなど）		生産システムベンダー	2018	2025
44			セルフレジ機能の開発：多様な決済手段との連動		小売、生産システムベンダー	2018	2025
45	(L)消費者メリットの提供及び不安の解消	消費者が利用可能とすること	消費者宅での情報活用方法の提示／開発		国	2018	2025
46			消費者宅での情報活用方法(情報問合せ方法)の提示／開発		研究機関	2018	2025
47			消費者宅でのタグ読み取り環境の提示／開発	スマホ搭載であればそれに値する目的の明確化が必要	リーダライタベンダー、スマホベンダー	2018	2025
48			消費者主導でのタグ無効化の手段の提示／開発		タグ加工メーカー 生産システムベンダー	2018	2025
49			タグ利活用の不安解消施策の策定・実施		国	2018	2025
50			タグ廃棄／リサイクル等の方法の規定		国 業界団体	2018	2025